

淡路島に実習棟完成

吉備大 海藻類研究や養殖



祝 臨海実習棟 竣工

吉備国際大（高梁市伊賀町）が兵庫県南あわじ市の阿那賀漁港に整備していた同大農

学部海洋水産生物学科の臨海実習棟が完成した。大学の授業のほか、海藻類の生態研究や陸上養殖などに活用される。21日に現地で竣工記念行事が開かれた。

テープカットで臨海実習棟の完成を祝う関係者ら

う。記念行事には同大をはじめ、地元の南あわじ市や漁協関係者ら約70人が出席。大学を運営する学校法人順正学園の加計勇樹理事長は「海洋生物の生態系や多様性を学ぶことにより、新たなビジネスを創出できる学生を育てていきたい」とあいさつ。守本憲弘・南あわじ市長らとともにテープカットで完成を祝った。

同大は昨年4月、南あわじ志知キャンパス（南あわじ市）に農学部海洋水産生物学科を開設。併せて南あわじ漁協阿那賀支所だった建物を購入し、臨海実習棟としてリニューアルを進めていた。

（青木進一）